

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：村山 一弥

事業名	地域高規格道路 上越魚沼地域振興快速道路 一般国道 253 号 三和安塚道路	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県											
起終点	自：新潟県上越市三和区広田 至：新潟県上越市安塚区松崎			延長	9.4km											
事業概要	<p>三和安塚道路は、上越地域と魚沼地域を相互に連絡するとともに、北陸自動車道、関越自動車道、上信越自動車道を結ぶ広域道路ネットワークを形成する延長約 60km の地域高規格道路上越魚沼地域振興快速道路の一部を構成する道路である。</p> <p>一般国道 253 号は、上越市と十日町市を結ぶ幹線道路であり交通量も多く、本事業区間の現道は人家連担部で幅員が狭いため、特に朝夕のラッシュ時において渋滞が発生している。また、冬期間は積雪により有効幅員が減少するため、さらに交通容量が低下し混雑している。</p> <p>本事業は、隣接する直轄施工区間と一体整備することにより、終点部の安塚区松崎から上越市街地への大幅な連絡時間短縮や、物流等の効率化による地域の活性化、救急搬送の時間短縮、観光促進等を目的とした、延長 9.4km の暫定 2 車線道路である。</p>															
H9 年度事業化	都市計画決定なし		H10 年度用地着手	H10 年度工事着手												
全体事業費	約 379 億円	事業進捗率	約 74%	供用済延長	4.7km											
計画交通量	16,400 台/日															
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C (事業全体) 1.2</td> <td style="width: 50%;">総費用：(残事業)/事業全体 73/509 億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 5.6</td> <td>事業費：70/504 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持管理費：3/5 億円</td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 1.2	総費用：(残事業)/事業全体 73/509 億円	(残事業) 5.6	事業費：70/504 億円		維持管理費：3/5 億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益：(残事業)/事業全体 410/588 億円</td> <td style="width: 50%;">基準年：平成 29 年</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益：317/459 億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益：73/104 億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益：20/25 億円</td> <td></td> </tr> </table>	総便益：(残事業)/事業全体 410/588 億円	基準年：平成 29 年	走行時間短縮便益：317/459 億円		走行経費減少便益：73/104 億円		交通事故減少便益：20/25 億円	
B/C (事業全体) 1.2	総費用：(残事業)/事業全体 73/509 億円															
(残事業) 5.6	事業費：70/504 億円															
	維持管理費：3/5 億円															
総便益：(残事業)/事業全体 410/588 億円	基準年：平成 29 年															
走行時間短縮便益：317/459 億円																
走行経費減少便益：73/104 億円																
交通事故減少便益：20/25 億円																
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C=1.03~1.3 (交通量 ±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C=5.0~6.3 (交通量 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=1.1~1.2 (事業費 ±10%)</td> <td>事業費：B/C=5.1~6.2 (事業費 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=1.1~1.3 (事業期間 ±20%)</td> <td>事業期間：B/C=5.1~5.9 (事業期間 ±20%)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量：B/C=1.03~1.3 (交通量 ±10%)	(残事業) 交通量：B/C=5.0~6.3 (交通量 ±10%)	事業費：B/C=1.1~1.2 (事業費 ±10%)	事業費：B/C=5.1~6.2 (事業費 ±10%)	事業期間：B/C=1.1~1.3 (事業期間 ±20%)	事業期間：B/C=5.1~5.9 (事業期間 ±20%)					
(事業全体) 交通量：B/C=1.03~1.3 (交通量 ±10%)	(残事業) 交通量：B/C=5.0~6.3 (交通量 ±10%)															
事業費：B/C=1.1~1.2 (事業費 ±10%)	事業費：B/C=5.1~6.2 (事業費 ±10%)															
事業期間：B/C=1.1~1.3 (事業期間 ±20%)	事業期間：B/C=5.1~5.9 (事業期間 ±20%)															
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市街地へのアクセス向上 ・第三次救急医療施設へのアクセス向上 ・主要な観光地へのアクセス向上 ・交通転換による現道における通学児童の安全性の確保 ・道路機能向上による冬期間の安全性の確保 															
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市をはじめとする関係 3 市 2 町の首長で構成される「上越魚沼地域振興快速道路建設促進期成同盟会」が組織されており、早期整備、供用の強い要望がある。 															
事業評価監視委員会の意見	継続の方針は妥当															
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 3 月、浦川原 IC~安塚 IC (L=4.7km) 区間を開通。 ・平成 27 年 3 月、北陸新幹線が延伸（長野~金沢）し、上越市に上越妙高駅が開業。 															
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率約 93%、事業進捗率約 74%															
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。															
施設の構造や工法の変更等	今後も建設発生土の転用等により、資源の有効活用とコスト縮減に努めていく。															
対応方針	事業継続															
対応方針決定の理由	事業の必要性や重要性は高く、費用対効果の投資効果も確保されているため。															

事業概要図



凡 例	
開 通 済	■
事 業 中	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
調 査 中	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。